

# おさむない 納内まちづくり通信

第15号

発行：納内地域集落対策協議会

—— いつまでも住み続けられる活力あるまちづくりに取り組む、納内地域集落対策協議会の活動をお知らせします ——



新年明けましておめでとうございます。

皆様におかれましては良い年をお迎えになられたことと存じます。農林水産省の補助金（農村集落活性化支援事業）を受けての事業活動は今年度で終了しますが、協議会では、引き続き納内の活性化に向けて明るく住みよいまちづくりを目指してまいりますので、地域の皆様のご参加、ご協力をよろしくお願いいたします。

皆様にとって、素敵な年になりますようご祈念いたします。

納内地域集落対策協議会 会長 安藤一彦

## ・納農会「土鍋で新米食べ比べ」を開催

10月23日（水）納内の若手農業者で作る「納農会」が企画した「土鍋で新米食べ比べ」をさがら食堂で開催しました。秋に収穫したばかりの「ななつぼし」と「えみまる」を持ち寄り、土鍋で炊いてから皆で試食しました。炊き立ての新米の香り、もちもち感、つや感、甘味などどれも美味しくすばらしい出来生えでしたが、銘柄が一緒でも条件によって微妙に違うことを実感しました。その後ジングスカンを食べながら何が原因か意見交換を行いました。12月12日（木）には、お米の販売時に使用するラベルについて話し合いを行い、「納内のお米」をアピールしたいと意欲を燃やしました。



## ・にしん漬を販売

11月25日（月）サロンなごみの運営スタッフが「にしん漬」を作りました。12月9日からサロンなごみや道の駅ライスランドふかがわ農産物直売所「えしる」で販売しています。クラーク高校のマーケティングゼミ生が宣伝用のポップを作成しました。同時に「三升漬」も販売しています。道の駅にお越しの際、是非一度お立ち寄りください。





10月30日(水)  
11時～14時、サロンなごみ運営スタッフのみなさんと、クラーク高校の「オリジナルレシピ開発ゼミ」の生徒さんが一緒に共同サロンを開催しました。

クラーク高校の生徒さんが、なごみのために深川産の黒米を使用した「サツマイモとリンゴの炊き込みご飯のおにぎり」と、クラーク高校の元気の泉キャンパスで採れた野菜をたくさん使用した「豚汁」、そして「フルーツサンドイッチ」のデザートを考案し、朝から慣れた手つきで次々と調理して11時から食事の提供を行いました。地域の方も大勢来店し、食事をしながら生徒との交流を深め、「美味しい」の言葉に生徒達はとても嬉しそうでした。

午後からは「サロンなごみ体験会」で、旭川のヨガスタジオ「アーカーシャ」から講師を招き「ヨガ教室」を開催しました。椅子に座りながら無理なく出来るヨガを教えていただき、始まる前と終わった後での体の柔らかさの違いに参加者は驚いた様子でした。

## ・クリスマス親子ケーキ作り

12月7日(土) 納内コミセンで「クリスマス親子ケーキ作り」を開催しました。当日は大勢の親子等が参加され、講師の話を聞きながらそれぞれホールケーキ1台ずつ作りました。「ケーキ初めて作ったあ❀楽しい～♡美味そう❀」の声があちこちから聞こえ、楽しい時間を過ごしました。



## 深川市赤十字奉仕団納内分団

### ～鉄道関係功労者大臣表彰受賞～

11月30日(土) ラ・カンパーニュホテル深川で赤十字奉仕団納内分団の鉄道関係功労者大臣表彰受賞祝賀会が開催されました。

納内分団は、多年にわたる JR 納内駅の花壇整備及び清掃を行ってきており、駅の環境美化に貢献してきました。その功績により今年度鉄道関係功労者として国土交通大臣表彰を受賞されました。また、サロンなごみの運営や本協議会の各種事業の実施にもボランティアとして積極的に参加し、納内の地域活性化に無くてはならない大きな存在となっています。



## ・クリスマスコンサート

12月16日(月) サロンなごみで、地域の皆様に日頃のお礼と感謝を込めて「クリスマスコンサート」を開催しました。深川在住で札幌ピアノソサエティの眞保響さんと、札幌交響楽団ヴァイオリン奏者の三原豊彦さん、同パーカッション奏者の大垣内英伸さんの演奏が始まると会場は一気にクリスマスモードに包まれ観客は楽しいトークと素晴らしい音色に魅了されて素敵な一時を過ごしました。

